

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2002年1月6日

### 2002年11月～12月概況

11月中の降水量不足の為、出芽後の小麦の生育は平年より遅れていた。12月に入り各地に待望の降水が有り、冬小麦に取り極めて有効であった。但し、東中央地区の多くの小麦圃場で、更に降水を必要とする状態である。

Blue Mountains の降雪量は極めて少なく、今後の降雪量が夏季の給水の為に極めて重要である。Whitman 郡の小麦は12月の降水で状況が改善された。同郡の小麦の生育状況は殆どが Fair から Good である。

### 土壌水分状況：11月25日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	15	43	35	7
Subsoil (%)	11	43	46	0
Irrigation Water (%)	0	1	99	0

### 小麦進捗状況：11月25日現在

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Winter wheat Emerged (%)	95	95	100	99

### 冬小麦の生育状況：11月25日現在

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Condition%	3	17	58	20	2

Source: Washington Agricultural Statistics Service

今後は来年4月まで毎月一度気象概況を報告致します。

当該作柄レポートへのご質問、ご意見は下記宛てにお願いします。

小川正晃 : E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)